

ボール遊び調査結果（概要）

（１）公園以外でのボール遊びについて

- ・区内には、公園以外にボール遊びができる場所が、小学校などを中心に多く設定されており（参考資料５ ボール遊びマップ参照）、学校・幼稚園アンケートにおいても、校庭開放でボール遊びをしたことがある人が半数以上となっていることから、校庭開放に対して一定の認知と利用がされていることが伺える。ただし、公園以外にボール遊びができる場所を知らない人も３割程度いるため、周知と利用促進の取組みを進めていくことが望ましいものと考えられる。また、引き続き公園のボール遊びの制限緩和に関する検討を行っていくことが必要である。

（２）公園におけるボール遊びについて

- ・学校・幼稚園へのアンケートからは、頻度を問わず公園でボール遊びをする子どもは約６割となっており、３割近くの子どもは公園で遊ぶ２回に１回以上ボール遊びを行っていることから、公園でのボール遊びの需要は一定程度高いものと推察される。
- ・公園利用者へのヒアリングからは、子ども・大人ともボール遊びについて注意を受けた、あるいは迷惑を受けたとの回答はほぼ見られず、学校・幼稚園アンケートにおいてもボール遊びをして注意されたことのある人は約２割にとどまっている。これらの結果から、ボール遊びをする子どもなども周囲に配慮しながら遊んでいることが捉えられるが、学校・幼稚園アンケートにおいても８割近くの人が「危険なボール遊び」が禁止されていることを知っていることもその背景にあると考えられる。
- ・「危険なボール遊び」について、子ども、大人とも次のような遊び方が危険という認識は概ね共通しており、それ以外の遊び方に関しては許容される可能性が高い。
 - － バットやラケットを使用した遊び方
 - － 硬いボール（野球の軟球など）を使用した遊び方
 - － 速いボールを投げたり蹴ったりする遊び方 等

（３）公園でボール遊びを行うための取組み・ルールについて

- ・近隣住民アンケートにおいて、公園でのボール遊びを禁止してもらいたいとの意見は約６%にとどまっており、大半の人は禁止までは求めていない。一方で、明確にルールを定める必要があると考えている人が半数以上となっていることから、何らかのルールや公園施設・設備による対応を行うことが望まれている。

①ボール遊びに対するルール設定

- ・ボール遊びのルールとして、「ボールが遠くに飛ばない遊び方」や「ボール遊びの時間帯の設定」などへの意見が多く見られるが、時間帯の設定に関する具体的な意見では特に傾向などは見出せず、また日時を限定した場合の周知や運用などにも課題があることから、区

内の全ての公園においてボール遊びができる日時を限定するルールの導入は難しいものと考えられる。

- ・公園で行えるボール遊びを定義づけた上でそれ以外の遊び方を禁止するルールについては、上記（２）で危険なボール遊びに対する認識を踏まえても、実現可能性があるものと考えられる。

②ボール遊びができるエリアなどの設定

- ・近隣住民アンケートにおいて、ボール遊びに対する公園での対応策として、ボール遊びができるエリアの設定やネットフェンスなどの設置に対する意見が多く見られている。また、公園の観察調査においても、ベンチで休憩する人が近くでボール遊びをされると気になるといった声も一部見られたことから、ボール遊びを許容するためには、公園側で何らかの対応を行うことが必要と考えられる。
- ・最も分かりやすいのは、ボール遊びができるエリアあるいは公園外周をネットフェンスなどで囲い安全性を確保することであるが、誰もが自由に使える公園という視点からは、必要以上にフェンスなどで囲ってしまうことにより利用方法を限定してしまう、または近寄り難さを感じさせてしまう対応を行うのは難しいものと考えられる。
- ・一定の面積がある公園については、周囲の遊具やベンチなどから一定のバッファを確保した上でボール遊びができるエリアを設定することが可能と考えられる。ただし、向原公園のような面積があまり広くない公園でこのような対応を行うと、十分なボール遊び可能エリアを確保することができず、実質的にボール遊び禁止となってしまう可能性があり、公園により利用方法に差が生じる点への留意が必要である。
- ・近隣住民アンケートでは、公園ごとにボール遊びのルールを定めれば良いとの意見が約6割となっているが、公園の維持・管理方法とも関連してくる事項でもあるため、具体的な対応方策についての検討が必要である。

③ボール遊び指導員などボランティアの配置

- ・公園利用者（大人）、近隣住民いずれのアンケートからも、公園での見守り・ボール指導員へのボランティアに関して、仕事や子育てなどの理由から参加することは難しいとの回答が大半となっており、地域力による対応だけでは難しい面があることが明らかとなった。